

地域おこし協力隊通信

令和7年度活動報告会・交流会開催のお知らせ ～より良い利根町の未来に向けて～



スポーツ



稲垣隊員

空き家



安藤隊員

多文化



池本隊員



田井隊員



藤田隊員



奥田隊員

参加費無料

申し込み不要

【日 時】 3月14日(土) 13:00～15:00
 【場 所】 とねふれあいプラザ コミュニティルーム
 【内 容】 地域おこし協力隊の活動報告会・交流会
 【注 意 事 項】 イベント進行の妨害や他の参加者の迷惑に当たる行為(暴言・暴力・威圧的な態度など)はご遠慮ください。
 ※状況によっては退出していただく場合があります
 【問い合わせ】 地域おこし協力隊 安藤 ☎090-4307-6836

スポーツ指導者募集

地域クラブ活動「すぽかるとね」事務局では、さらなる内容の充実に向けて、引き続き指導者を募っております。スポーツ指導歴がある方や、お知り合いにスポーツ指導が可能な方がいらっしゃいましたら、役場生涯学習課までご紹介ください。

【問い合わせ】 生涯学習課 社会教育係 ☎68-2211 (内線423)

今回は、「バイオマスプラスチック」のお話です。

バイオマスプラスチックは、再生可能な植物資源や微生物由来の有機物を原料として作られるプラスチックで、石油由来プラスチックに比べ製造および廃棄時のCO₂排出量を削減でき、持続可能な資源利用が期待されています。

原料としては、トウモロコシやサトウキビ、キャッサバ、微生物や廃食用油などが用いられ、製造方法も、発酵法や化学的合成法、微生物生成など様々です。

植物など再生可能な有機資源から作られるバイオマスプラスチックは、原料となるバイオマスが成長過程で大気中の二酸化炭素を吸収し固定化しているため、焼却しても大気中の二酸化炭素は増加しないという特性があります。そのため、大気中の二酸化炭素の増加を抑制し、地球温暖化対策に貢献することが期待されています。

【ここに注目】

バイオマスプラスチックは、従来の化石資源(石油など)由来のプラスチックよりも価格が高く、品質や機能が劣る場合があります。

しかし、バイオマスプラスチックの活用は、化石資源の使用量削減や二酸化炭素排出量の削減に貢献します。また、循環型社会の構築にもつながり、持続可能な社会の実現を後押ししています。

現時点では社会への浸透に向けて課題もありますが、今後のさらなる普及拡大が求められています。

【関連URL】

環境省「EcoJin 8.4万トン」
<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/scope/20211006.html>

農林水産省「バイオマスの活用の推進」
<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/biomass/attach/pdf/index-196.pdf>

認知症地域支援推進員のつぶやき No.91 認知症と共に生きる勇気

先日、友人と共にバスツアーに参加した時の出来事をご紹介します。

団体旅行では、集合時間を守ることが鉄則です。添乗員の方が「次は〇時〇分集合です」と、時間を示してください。ところが、バスを降りて散策する頃、私は友人に「集合時間何時だっけ?」と尋ねてしまい、ドキッとしました。これぞまさしく短期記憶障害!友人も集合時間が分からなかったため、仕方なく同じバッジをつけている周囲のツアー客の動向を気にしながらの散策となりました。その後は、集合時間などを忘れないようにメモを取ることにしました。「昔とは違う」、そう感じた瞬間でした。

認知症は、誰にとっても身近な病気になってきています。しかし、周りの人が気付く前に、自分自身が一番その変化を感じているのではないのでしょうか。「これも年のせい」で済ませているうちは良いかもしれませんが、もし生活に支障が出てくるのであれば、立ち止まって考えなくてはなりません。人は皆、年を重ねます。これからどう自分と向き合っていくのか自分自身で考えることが、何よりの予防につながると感じています。

「現実から目を背けず、ありのままを受け入れる。認知症になったからといっても、私は私だ!」
 そう書いたメモを握りしめ、旅は最高の思い出を作ってくれました。

私たちはここにあります!

認知症地域支援推進員配置施設

- 利根町地域包括支援センター ☎68-2211
- 利根町保健福祉センター ☎68-8291
- 複合福祉施設 響 ☎61-8500
- 介護老人保健施設 もえぎ野 ☎84-6081